

# 美しい森林づくり

## 美しい森林づくり

青森森林管理署

青森森林管理署では、多くの県民の方々に森林・林業に親しみ理解を深めてもらうため、地元でボランティア団体等と連携して各地で植樹祭や森林教室などを行っております。今回はその中から全国的にもその活動が知られているヒノキアスナロ緑の少年団の体験林業について紹介します。

「緑の少年団の枝打ち体験」

6月18日(土)、当署管内の青森市浅虫ダム上流の国有林において、郷土の緑豊かな環境づくりの一環として実施することを目的に、沖館地域緑の募金推進協力会主催による、ヒノキアスナロ緑の少年団を対象とした体験林業が行われました。

沖館地域緑の募金推進協力会



開会式の様子

は、旧青森営林局があった青森市沖館地区の住民が設立した会で、局・署のOBも多数会員になっており、今回の体験林業もOBが主体となって行われました。また、参加したヒノキアスナロ緑の少年団も同じ地区の沖館小学校の3年生から6年生の生徒15名が団員となっています。

当日は朝からあいにくの曇り空で、上着が必要なほど肌寒い天気でしたが、緑の少年団

の子供達は、元気がいっぱいに集まってくれました。

体験する作業は、ノコギリを使った枝打ちで、作業開始前に主催者側から作業に当たつての注意事項の説明を受けてから25年生のスギ林に入り、子供達の手の届く範囲で一生涯命にノコギリを使って作業していました。

最初のうちは恐る恐るノコギリを握って枝を切っていた子供達も、職員等から手ほどきを受けるとすぐにコツを覚えて、枝を切るスピードもアップし、「次はどこ?」「もっとやりたい!」と夢中になって作業していました。また、スギに絡んでいるつ



枝打ち作業中

るも切つて、「成長の邪魔になるから」と丁寧を外している子もいました。そして誰も怪我することなく無事に予定していた箇所の作業を終えました。

作業終了後の林内は下枝がなくなりすっきりとして、それを見た子供達は自分たちの作業の成果にとても満足そうにして、林地を後にしました。

この少年団からは実際に林野庁職員になった者もあり、今回参加した子供達も、将来、地元美しい森林づくりの一翼を担ってくれることを願っています。



記念撮影